

京都学・歴彩館 海外若手研究員受入事業 府民向けセミナー第2回（開催報告）

平成30年3月9日
京都学・歴彩館
075-723-4835

京都学・歴彩館では、世界とつながる京都学の研究・交流拠点をめざし、国内外からの幅広いアプローチにより京都文化の普遍的な価値を研究、発信するため、平成29年度から、日本研究・京都研究の優秀な海外若手研究者を京都学研究員として招聘しています。このたび、京都学研究員による第2回府民向けセミナーを開催しましたので報告します。

記

- 日 時 平成30年3月9日（金） 13:30～14:40
- 場 所 京都府立京都学・歴彩館 小ホール
- 講 師 京都学研究員 ラドゥ・レカ（ルーマニア出身）／オランダから招聘
- 発表内容 「愛国主義の具体化？幕末日本の地図皿」
- 参加者 30名

■ セミナーの様子

自分なりの日本地図を参加者に描いていただく実習の後、各種地図皿を写真で紹介しつつ、地図皿の意味や、磁器に投影された日本を読み解くレクチャーが行われた。また、発表後の質疑応答により、参加者との交流を図りつつ、一層の理解を深めた。

■ 参加者コメント（抜粋）

- 内容的に素晴らしかった。海外からの若手研究員の発表は極めて興味深いものでした。
- 様々な地図皿から多くの意味が読みとれることを教わりました。
- 資料、工芸品類の絵柄に関しての見方、取り上げ方が通常の鑑賞ポイントと異なることが興味深かった。海外の方からの独自視点での分析をもっと聞きたいです。
- 研究者の京都（もしくは日本）を見る視点は面白いです。海外若手研究員の受け入れは、今後も続けて欲しいです。

府民向けセミナー第2回の様子



発表 ラドゥ・レカ氏